

株主のみなさまへ

第114期 事業報告書

平成27年4月1日から
平成28年3月31日まで



 静甲 SEIKO CO.
株式会社


(証券コード 6286)



目次

● ごあいさつ	1
● 事業の概況(連結)	2
● グループ概要(連結子会社)	7
● 連結業績の推移	8
● 個別業績の推移	9
● 連結財務諸表	10
● 個別財務諸表	11
● トピックス	12
● 会社の概況	13

ごあいさつ

株主の皆さまには平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、当社第114期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)の事業報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

当連結会計年度における我が国の経済は、政府による経済・金融政策を背景に企業収益や雇用環境の改善、設備投資の持ち直しが見られるなど、景気は緩やかな回復傾向で推移いたしました。しかしながら、中国をはじめとする新興国経済の景気減速や年明け以降の株安、円高を背景として、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境のなか、当社グループにおきましては、「顧客対応力の充実を図る」を方針として掲げ、「人づくり」「仕組みづくり」「ものづくり」の3つを重点課題として定め、各事業において施策を推進しております。

各セグメントの業績につきましては、売上高は、産業機械事業は前年同期を上回り、車両関係事業は前年同期並みの実績となりました。一方、電機機器事業は前年同期のような大型の設備案件がなく、冷間鍛造事業は納入先の海外生産移行等の影響により、それぞれ前年同期の実績を下回りました。これらの結果、当社グループの売上高は、前年同期比2.2%減の273億7千9百万円となりました。利益面では、産業機械事業の利益率改善を主な要因として、経常利益は前年同期比56.8%増の3億1千8百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は2億6千4百万円(前年同期は1億8百万円の損失)となりました。

当期の期末配当金につきましては、1株につき8円として、先に実施いたしました中間配当金と合計した年間の支払配当金は1株につき16円とさせていただきます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年6月

取締役社長 鈴木恵子

事業の概況(連結)

産業機械事業

【概況】

主要な販売先である食品業界をはじめとして、大型機は前年同期並みでしたが小型・中型機は堅調に推移し、売上高は前年同期比5.6%増の45億4千万円となりました。利益面では、前年同期は大型機の一部の不具合対応が利益を圧迫しましたが、当期は機械の標準化やITを活用した設計業務の効率改善などにより、設計時間の短縮や不具合の発生が減少したため利益率が改善しました。これらの結果、営業利益は前年同期に比べ大幅に増加し、3億4千8百万円(前年同期は2千9百万円の利益)となりました。

【対処すべき課題】

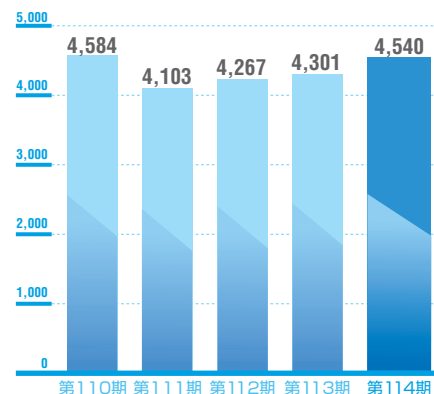
産業機械事業では、お客さまのニーズに合った製品開発に努めるとともに、引き続き機械の標準化とITの活用による効率化を推進いたします。さらに営業活動の強化及び保守メンテナンスの拡大による収益確保に取り組んでまいります。



ソース充填ライン

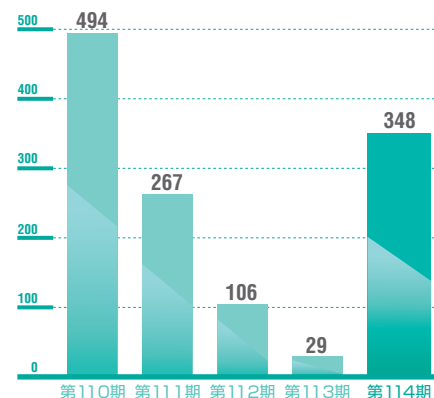
売上高

(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)



冷間鍛造事業

【概況】

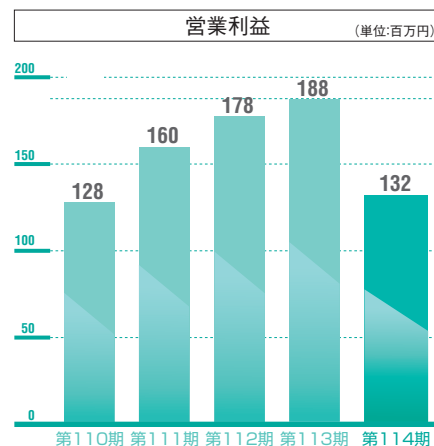
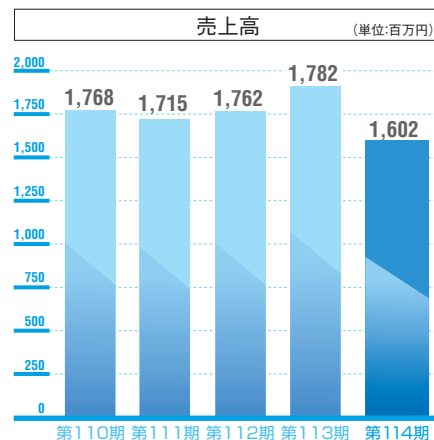
自動車部品は、前年同期に好調だった北米向け部品が一段落したことに加え、電動工具部品とともに納入先の海外生産移行により一部製品の売上が減少したため、それぞれ前年同期の実績を下回りました。事務機・産業機械部品は前年同期並みの実績となりました。これらの結果、売上高は前年同期比10.1%減の16億2百万円、営業利益は、売上の減少に伴い前年同期比29.6%減の1億3千2百万円となりました。

【対処すべき課題】

冷間鍛造事業では、受注量の減少に対処するため、積極的な営業活動による新規ユーザーの開拓や新規製品の受注に取り組むとともに、成形技術の開発及びレベルアップにより製品の高精度化を進め、競争力向上に努めてまいります。また生産効率の向上及び原価低減にも取り組んでまいります。



新規顧客受注の鋳型用固定治具部品(上) および新規受注の電動工具部品(下)



事業の概況(連結)

電機機器事業

【概況】

主力のFA関連機器は、自動車関連設備の需要が好調に推移したため、前年同期の実績を上回りました。設備機器及び空調機器は、前年同期のような売上高を押し上げた大型案件がなく、小型案件の売上にとどまったことにより前年同期の実績を下回りました。冷熱機器は、新築需要が減少したことにより前年同期の実績を下回りました。これらの結果、売上高は前年同期比15.3%減の44億6千万円、営業利益は、前年同期のような低採算の大型案件がなく、利益率が改善されたため前年同期比1.1%増の2億4千3百万円となりました。

【対処すべき課題】

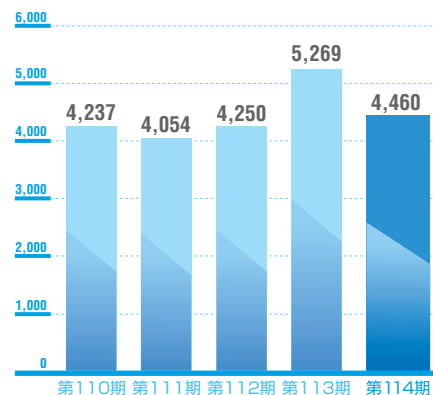
電機機器事業では、顧客開拓のため組織横断的な営業活動を推進し、提案力及び対応力を高めるとともに、引き続き製造業を中心としたエンドユーザーへの営業強化と販売店との関係強化に取り組んでまいります。また新商材の拡販や設備機器関連での工事領域拡大などに取り組んでまいります。



取扱商品の三菱電機㈱ FA(ファクトリーオートメーション)関連機器

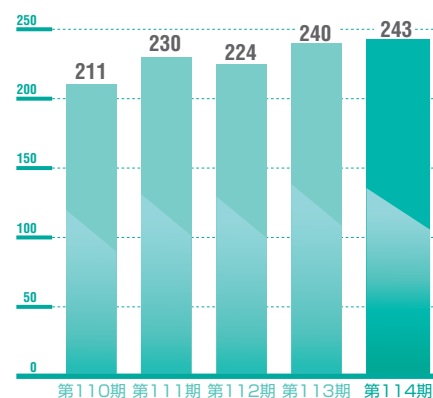
売上高

(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)



車両関係事業

【概況】

新車販売は、前年同期に比べメーカーの新型車発売が少なく、積極的な広告宣伝を行い受注獲得に注力しましたが、メーカーの供給不足もあり前年同期の実績を下回りました。一方、中古車販売、輸入車販売は堅調に推移し、サービス部門も車検入庫台数の確保に努めた結果、それぞれ前年同期の実績を上回りました。これらの結果、売上高は前年同期比0.6%増の166億3千3百万円、営業利益は、受注獲得のための販売促進費の増加を主な要因として、前年同期比33.4%減の3億1千4百万円となりました。

【対処すべき課題】

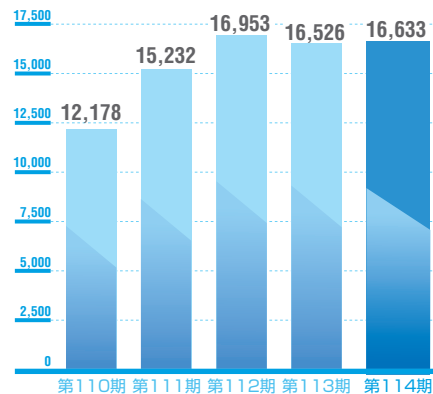
車両関係事業では、基盤顧客とのつながりを強化するとともに新規顧客開拓のため、魅力ある店舗づくりを推進し顧客の来場促進と満足度の向上に努めてまいります。また、引き続きサービス部門の収益性向上に取り組んでまいります。



スバル LEVORG

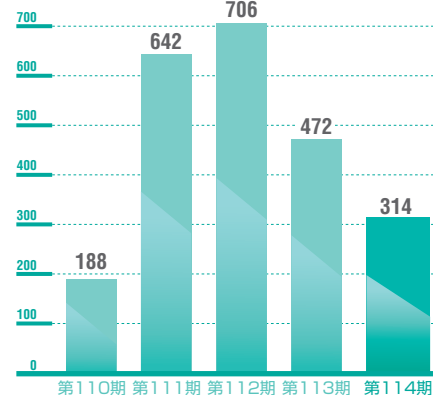
売上高

(単位:百万円)



営業利益

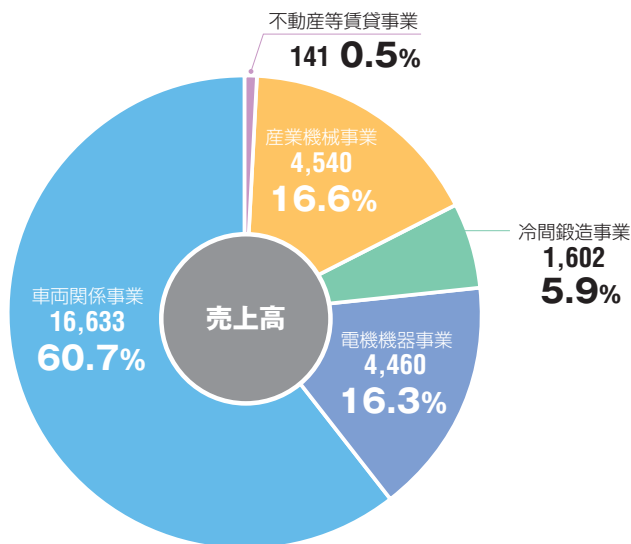
(単位:百万円)



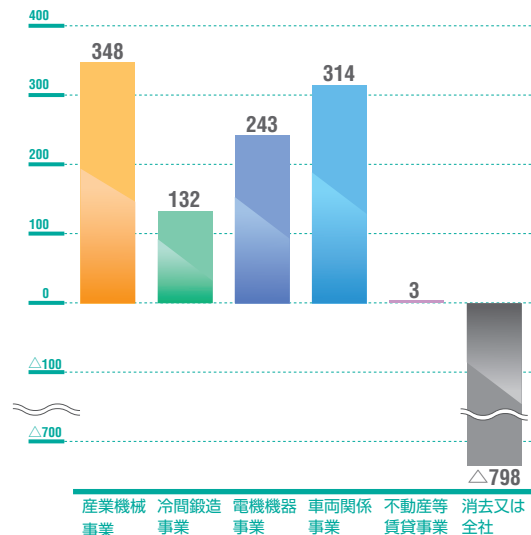
事業の概況(連結)

セグメント別売上高・営業利益

売上高 (単位:百万円)



営業利益 (単位:百万円)



(注)「消去又は全社」は、主にセグメント別に配賦することができない当社の管理部門に係わる費用であります。

■セグメント別の主要な事業内容

セグメント	主要な事業内容
産業機械事業	包装機械等の製造販売、修理・改造
冷間鍛造事業	冷間鍛造製品の製造販売
電機機器事業	FA機器・空調機器・冷凍機器等電機機器の販売及び空調設備設置工事
車両関係事業	車両及びその関連商品の販売
不動産等賃貸事業	駐車場経営及び貸自動車事業等

グループ概要 (連結子会社)

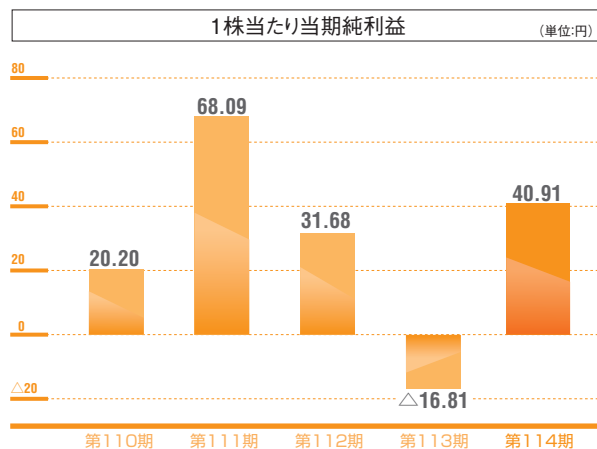
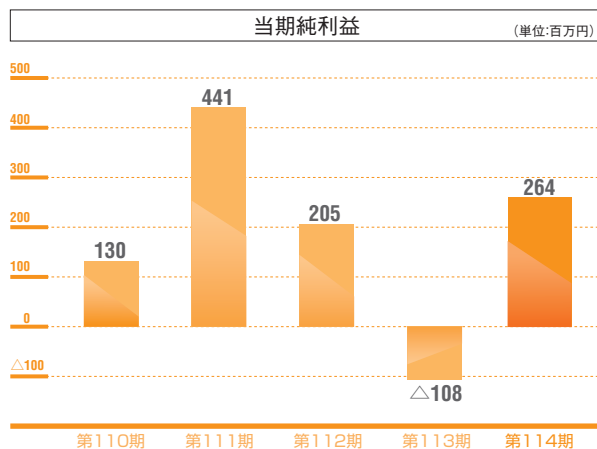
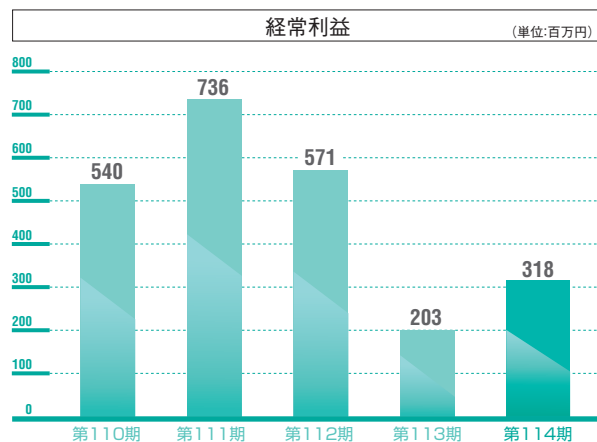
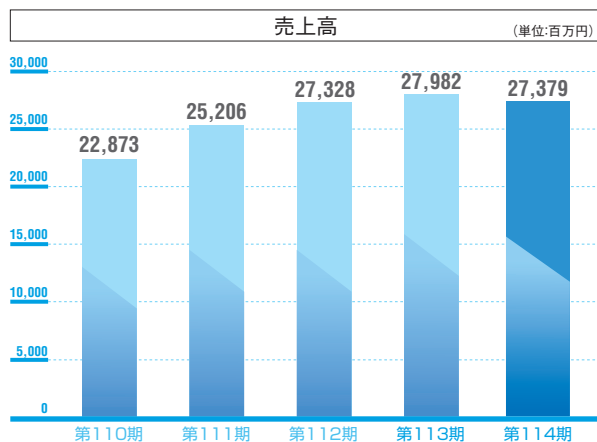


■連結子会社の状況 (平成28年3月31日現在)

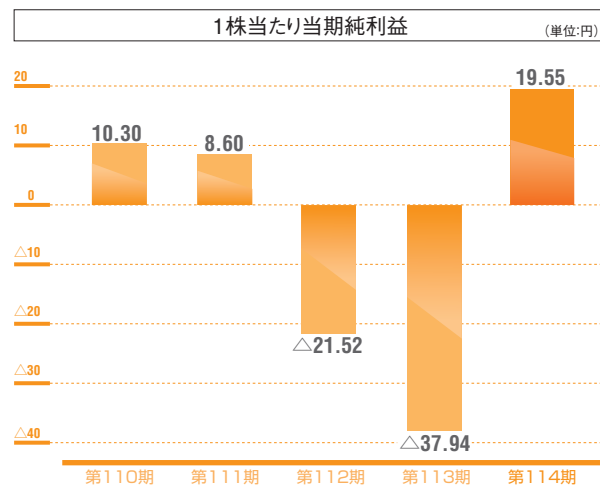
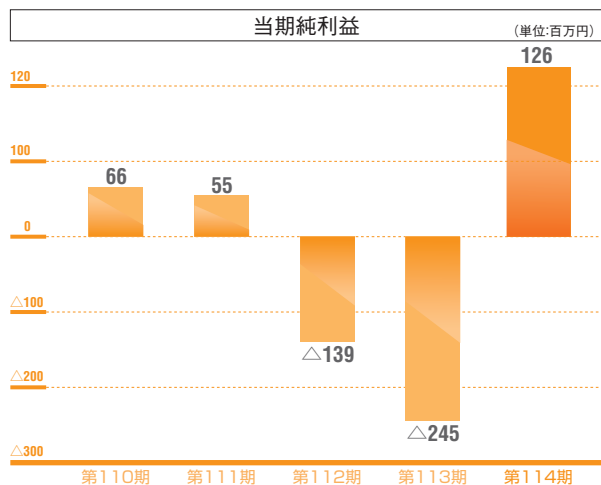
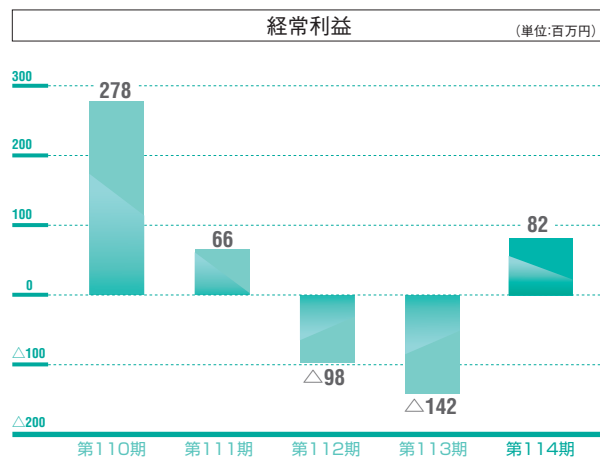
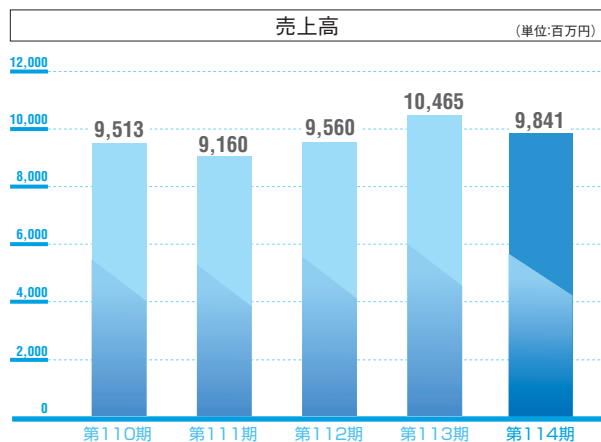
会社名	資本金	当社の議決権比率	主な事業内容
日本機械商事株式会社(本社:東京都)	150,000 千円	100.00 %	包装機械の販売
静岡スバル自動車株式会社	50,000	100.00	自動車の販売修理
株式会社エコノス・ジャパン	30,000	100.00	殺菌装置、食品加工機械等の製造販売
静岡自動車株式会社	16,000	100.00	駐車場業・レンタカー業
静岡バイオート株式会社	20,000	100.00	輸入自動車の販売修理

(注) 静岡バイオート株式会社は、静岡スバル自動車株式会社の100%子会社であります。

連結業績の推移



個別業績の推移



連結財務諸表

■連結貸借対照表(平成28年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部		負債及び純資産の部	
流動資産	8,387,096	流動負債	4,542,715
現金及び預金	3,061,521	支払手形及び買掛金	2,409,683
受取手形及び売掛金	3,110,904	その他	2,133,032
たな卸資産	1,602,335		
その他	614,491	固定負債	1,711,554
貸倒引当金	△ 2,156	〈負債合計〉	〈 6,254,270〉
固定資産	10,607,641	株主資本	11,696,739
(有形固定資産)	(7,639,662)	資本金	100,000
建物及び構築物	2,682,632	資本剰余金	3,070,576
土地	3,235,396	利益剰余金	8,554,781
その他	1,721,633	自己株式	△ 28,617
(無形固定資産)	(213,270)	その他の包括利益累計額	1,043,728
(投資その他の資産)	(2,754,708)	その他有価証券評価差額金	1,043,728
投資有価証券	2,378,084	〈純資産合計〉	〈12,740,468〉
その他	376,623		
資産合計	18,994,738	負債及び純資産合計	18,994,738

■連結損益計算書(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位:千円)

科 目	金 額
売上高	27,379,328
売上原価	22,262,233
販売費及び一般管理費	4,873,765
営業利益	243,329
営業外収益	124,261
営業外費用	49,264
経常利益	318,326
特別利益	76,034
特別損失	7,683
税金等調整前当期純利益	386,677
法人税、住民税及び事業税	109,162
法人税等調整額	13,297
当期純利益	264,216
親会社株式に帰属する当期純利益	264,216

■連結キャッシュ・フロー計算書(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位:千円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,647,168
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,164,700
財務活動によるキャッシュ・フロー	251,431
現金及び現金同等物の増減額	733,898
現金及び現金同等物の期首残高	2,263,453
現金及び現金同等物の期末残高	2,997,351

■連結株主資本等変動計算書(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成27年4月1日残高	1,337,000	1,833,576	8,394,062	△5,798	11,558,840	1,216,913	12,775,753
会計方針の変更による累積的影響額							
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,337,000	1,833,576	8,394,062	△5,798	11,558,840	1,216,913	12,775,753
連結会計年度中の変動額							
減資	△1,237,000	1,237,000					
剰余金の配当			△103,498		△103,498		△103,498
親会社株式に帰属する当期純利益			264,216		264,216		264,216
自己株式の取得				△22,819	△22,819		△22,819
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△173,184	△173,184
連結会計年度中の変動額合計	△1,237,000	1,237,000	160,718	△22,819	137,899	△173,184	△35,285
平成28年3月31日残高	100,000	3,070,576	8,554,781	△28,617	11,696,739	1,043,728	12,740,468

個別財務諸表

■貸借対照表 (平成28年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部		負債及び純資産の部	
流動資産	4,828,777	流動負債	1,806,841
現金及び預金	1,495,242	支払手形及び買掛金	930,676
受取手形及び売掛金	2,407,424	その他	876,164
たな卸資産	679,259		
その他	248,780	固定負債	934,243
貸倒引当金	△1,929	〈負債合計〉	〈2,741,084〉
固定資産	7,063,537	株主資本	8,443,864
(有形固定資産)	(2,623,382)	資本金	100,000
建物及び構築物	1,044,048	資本剰余金	3,070,576
土地	991,926	利益剰余金	5,301,905
その他	587,407	自己株式	△28,617
(無形固定資産)	(197,724)	評価・換算差額等	707,365
(投資その他の資産)	(4,242,429)	その他有価証券評価差額金	707,365
投資有価証券	1,732,980	〈純資産合計〉	〈9,151,229〉
その他	2,509,777		
貸倒引当金	△ 328		
資産合計	11,892,314	負債及び純資産合計	11,892,314

■損益計算書 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位:千円)

科 目	金 額
売上高	9,841,774
売上原価	8,222,465
販売費及び一般管理費	1,652,499
営業利益	△ 33,189
営業外収益	154,191
営業外費用	38,118
経常利益	82,882
特別利益	75,175
特別損失	460
税引前当期純利益	157,597
法人税、住民税及び事業税	7,593
法人税等調整額	23,714
当期純利益	126,290

■株主資本等変動計算書 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					評価・ 換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成27年4月1日残高	1,337,000	1,833,576	5,279,114	△5,798	8,443,892	877,802	9,321,694
会計方針の変更による累積的影響額							
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,337,000	1,833,576	5,279,114	△5,798	8,443,892	877,802	9,321,694
事業年度中の変動額							
減資	△1,237,000	1,237,000					
剰余金の配当			△103,498		△103,498		△103,498
当期純利益			126,290		126,290		126,290
自己株式の取得				△22,819	△22,819		△22,819
株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額(純額)						△170,437	△170,437
事業年度中の変動額合計	△1,237,000	1,237,000	22,791	△22,819	△27	△170,437	△170,465
平成28年3月31日残高	100,000	3,070,576	5,301,905	△28,617	8,443,864	707,365	9,151,229

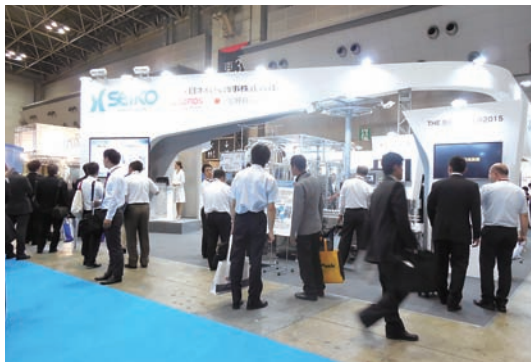
※本事業報告書中の記載金額は、表示単位未満を切捨てて表記しております。

トピックス

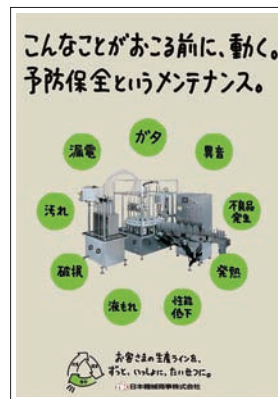
JAPAN PACK2015(2015 日本国際包装機械展)に出展(産業機械事業)

当社は平成27年10月13日～16日に東京ビッグサイトにて開催されたJAPAN PACK2015に出展しました。今回、当社ブースでは、「人に優しい機械づくりの未来へ」をテーマに、様々な製品を展示しました。包装機とロボットの融合システムのご紹介や保守・メンテナンスに関するご相談などのソリューションの展示も行いました。

●当社ブース来場者数 735人 (524社)



当社ブースの様子



保守・メンテナンス ご案内

静岡スバル自動車(株)

浜松入野店、ポルシェセンター静岡 沼津認定中古車センターオープン(車両関係事業)

連結子会社の静岡スバル自動車(株)が、平成28年5月に浜松入野店を、平成28年6月にポルシェセンター静岡 沼津認定中古車センターをオープンいたしました。

スバル浜松入野店は、明るく上質なショールーム、待合ラウンジを設け、お客さまにゆったりお過ごしいただける店舗づくりを目指しました。これからも、地域に密着したサービスの提供を心がけてまいります。



スバル浜松入野店



ポルシェセンター静岡 沼津認定中古車センター

会社の概況(平成28年3月31日現在)

●社名	静甲株式会社(SEIKO CORPORATION)		
●設立	昭和14年5月18日		
●資本金	1億円		
●従業員数	334名		
●株式の状況	発行可能株式総数	19,200,000株	
	発行済株式総数	6,430,804株 (自己株式52,519株を除く)	
	株主数	735名	
	大株主(上位10名)		

株主名	持株数	持株比率
鈴与ホールディングス株式会社	1,832,260株	28.49%
鈴木恵子	645,870	10.04
有限会社ティエムケイ	597,600	9.29
鈴木美代	340,500	5.29
株式会社静岡銀行	311,500	4.84
株式会社清水銀行	309,290	4.81
清水食品株式会社	204,000	3.17
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	135,100	2.10
静甲従業員持株会	126,500	1.97
鈴与自動車運送株式会社	104,000	1.62

●役員(平成28年6月28日現在)

代表取締役 取締役社長	鈴木 恵子
代表取締役 専務取締役	鈴木 武夫
取締役	大石 透
取締役	鈴木 孝明
取締役	鈴木 浩之
取締役	伏見 民生
取締役※1	山田 博久
取締役	石田 進一
常勤監査役	中村 元保
監査役※2	小林 和仁
監査役※2	戸塚 伸久
監査役※2	大津 善敬

※1 社外取締役

※2 社外監査役

株式事務のご案内

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会…3月31日 期 末 配 当…3月31日 中 間 配 当…9月30日
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 [公告掲載ウェブサイトアドレス] http://www.seiko-co.com/ ※なお、決算公告に代えて、貸借対照表、損益計算書は、EDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム)にて開示しております。 [EDINETホームページアドレス] http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/ ※貸借対照表及び損益計算書は当社ホームページIRコーナーでもご覧いただけます。 [当社ホームページアドレス] http://www.seiko-co.com/
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(通話料無料)
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(通話料無料)

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金支払いの際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。